

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2010-189030

(P2010-189030A)

(43) 公開日 平成22年9月2日 (2010.9.2)

(51) Int.Cl.	F I	テーマコード (参考)
B 6 5 D 23/00 (2006.01)	B 6 5 D 23/00	3 E 0 6 2
B 6 5 D 25/20 (2006.01)	B 6 5 D 25/20	Q
G 0 9 F 1/08 (2006.01)	B 6 5 D 25/20	Z
	G 0 9 F 1/08	L

審査請求 未請求 請求項の数 2 O L (全 7 頁)

(21) 出願番号	特願2009-34824 (P2009-34824)	(71) 出願人	000002897
(22) 出願日	平成21年2月18日 (2009.2.18)		大日本印刷株式会社
			東京都新宿区市谷加賀町一丁目1番1号
		(74) 代理人	100096600
			弁理士 土井 育郎
		(72) 発明者	小林 泰一郎
			東京都新宿区市谷加賀町一丁目1番1号
			大日本印刷株式会社内
		(72) 発明者	田中 雅人
			神奈川県横浜市都筑区池辺町3500番地
			株式会社DNPテクノパック横浜内
		Fターム (参考)	3E062 AA09 BA08 BB02 BB10 DA02 DA06

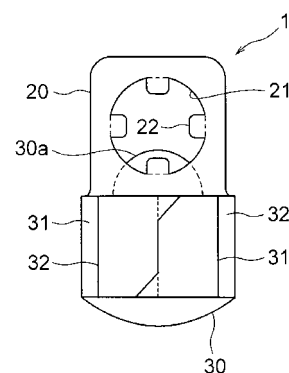
(54) 【発明の名称】 ボトルネッカー

(57) 【要約】

【課題】店頭での陳列状態では消費者からも解除部が見えにくく、また強い保持機能を持ったボトルネッカーを提供すること。

【解決手段】縦方向に2列かつ横方向に複数列の並びで複数の上側シート面と複数の下側シート面とを連設してなるシート本体と、任意の上側シート面に連設されボトルの首部に掛止可能な掛止片と、任意の下側シート面に連設された保持片と、保持片の左右にそれぞれ連設され、互いに掛かり合うように切り込みを設けた掛かり片31、32とからなる。縦方向に折り畳まれ横方向に2つ折りされたシート本体を保持片とその左右の掛かり片31、32とで保持する。掛かり片31、32が背面側で掛かり合うことでシート本体を保持することになるため、掛かり片31、32により強い保持機能を有し、ボトルの首部に吊るした状態での陳列時に消費者から掛かり片が見えにくく、指が掛かり片31、32に触れてばらけるというようなことがない。

【選択図】 図3



【特許請求の範囲】

【請求項 1】

縦方向に 2 列かつ横方向に複数列の並びで複数の上側シート面と複数の下側シート面とを連設してなるシート本体と、任意の上側シート面に連設されボトルの首部に掛止可能な掛止片と、任意の下側シート面に連設された保持片と、保持片の左右にそれぞれ連設され、互いに掛かり合うように切り込みを設けた掛かり片とからなり、縦方向に折り畳まれ横方向に 2 つ折りされたシート本体を保持片とその左右の掛かり片とで保持することを特徴とするボトルネッカー。

【請求項 2】

保持片が連設する下側シート面の端縁から保持片の中間部分にまで達する切り込みにより保持片の内側に凸状の表示片が区画形成されていることを特徴とする請求項 1 に記載のボトルネッカー。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、宣伝や広告のためにボトルの首部に吊下げて使用されるボトルネッカーに関するものである。

【背景技術】

【0002】

従来より、この種のボトルネッカーは、ウィスキーボトルを始めとしてボトル状の各種飲料容器を販売するに際し、特に新製品の販売時や、各種キャンペーンを行う時などに利用されている。このようなボトルネッカーに用いられるシート製の吊下げ具として、例えば特許文献 1 に記載のものが知られている。

【0003】

特許文献 1 に記載のボトルネッカーは、連続する複数のシート面を開封自在に折り畳んでなるシート本体と、折り畳んだ際に任意の面に位置するシート面に連設され容器の首部に掛止可能な掛止片と、折り畳んだ際に任意の面に位置するシート面に折り曲げ線を介して連設されるシート本体の折り畳み状態の維持、解除を行う係止片とからなり、中央部に掛止孔が穿設された掛止片を容器の首部に係止させて使用するものである。

【0004】

このボトルネッカーは、シート本体を折り畳んだ際に最下面に位置するシート面と折り畳んだ際に最上面に位置するシート面との表側に、必要なアイキャッチを印刷表示しておくことにより、販売促進効果を高めることができるものであり、シート面の裏側にも印刷表示層を設けてもよいものである。また、折り畳んだ際、内側に入る複数のシート面に、例えば、アンケート項目等を記載した葉書を印刷しておくことにより、消費者に情報を提供すると共に、消費者からの情報を収集することも可能となる。

【先行技術文献】

【特許文献】

【0005】

【特許文献 1】特開 2001-240063 号公報

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

【0006】

上記した特許文献 1 に記載のボトルネッカーは、シート本体を折り畳んだ際、最上面に位置するシート面に設けられた係止片が、掛止片と連設されたシート面と掛止片のない任意の面に位置するシート面との間に挟み込まれて保持するようになっている。このため、ボトルの首部に掛けられた状態で店頭に陳列される際、消費者が指で触れたりする場合があるが、この時に係止片が外れてばらけやすいという欠点があった。

【0007】

本発明は、このような問題点を鑑みてなされたものであり、その目的とするところは、

10

20

30

40

50

店頭での陳列状態では消費者からも解除部が見えにくく、また強い保持機能を持ったボトルネッカーを提供することにある。

【課題を解決するための手段】

【0008】

上記の目的を達成するため、本発明のボトルネッカーは、縦方向に2列かつ横方向に複数列の並びで複数の上側シート面と複数の下側シート面とを連設してなるシート本体と、任意の上側シート面に連設されボトルの首部に掛止可能な掛止片と、任意の下側シート面に連設された保持片と、保持片の左右にそれぞれ連設され、互いに掛かり合うように切り込みを設けた掛かり片とからなり、縦方向に折り畳まれ横方向に2つ折りされたシート本体を保持片とその左右の掛かり片とで保持することを特徴とする。

10

【0009】

そして、上記構成のボトルネッカーにおいて、保持片が連設する下側シート面の端縁から保持片の中間部分にまで達する切り込みにより保持片の内側に凸状の表示片が区画形成されている形態としてもよい。

【発明の効果】

【0010】

本発明のボトルネッカーは、縦方向に2列かつ横方向に複数列の並びで複数の上側シート面と複数の下側シート面とを連設してなるシート本体と、任意の上側シート面に連設されボトルの首部に掛止可能な掛止片と、任意の下側シート面に連設された保持片と、保持片の左右にそれぞれ連設され、互いに掛かり合うように切り込みを設けた掛かり片とからなり、縦方向に折り畳まれ横方向に2つ折りされたシート本体を保持片とその左右の掛かり片とで保持することを特徴としているので、折り畳んだシート本体の前面側に保持片が位置し、保持片の左右の掛かり片が背面側で掛かり合うことでシート本体を保持することになるため、掛かり片により強い保持機能を有するとともに、ボトルの首部に吊るした状態での陳列時に消費者から掛かり片が見えにくく、指が掛かり片に触れてばらけるというようなことがない。

20

【0011】

また、保持片が連設する下側シート面の端縁から保持片の中間部分にまで達する切り込みにより保持片の内側に凸状の表示片を区画形成しておくことにより、折り畳んだ際に表示片が突き出た状態になるため、この部分を利用して宣伝効果を挙げることができる。

30

【図面の簡単な説明】

【0012】

【図1】本発明に係るボトルネッカーの一例をボトルの首部に吊るした使用状態で示す斜視図である。

【図2】図1のボトルネッカーの正面図である。

【図3】図1のボトルネッカーの背面図である。

【図4】図1のボトルネッカーを形成するブランクの展開図である。

【図5】図4のブランクを折り畳んで図1のボトルネッカーを形成する途中の状態を示す説明図である。

【図6】図5に続く折り畳み途中の状態を示す説明図である。

40

【発明を実施するための形態】

【0013】

次に、本発明の実施の形態について図面を参照しながら詳細に説明する。

【0014】

図1は本発明に係るボトルネッカーの一例をボトルの首部に吊るした使用状態で示す斜視図、図2は図1のボトルネッカーの正面図、図3は同じく図1のボトルネッカーの背面図、図4は図1のボトルネッカーを形成するブランクの展開図である。

【0015】

ボトルネッカー1を形成するブランクは、折り畳みが可能なシートを打ち抜いて形成したもので、図4に示すように、縦罫線a、縦ミシン目線b、縦罫線c及び横罫線dにより

50

縦方向に2列かつ横方向に4列の並びで4枚の上側シート面11～14と4枚の下側シート面15～18とを連設したシート本体10と、上側シート面14の上端に折り曲げ線eを介して連設されたボトルの首部に掛止可能な掛止片20と、下側シート面17に折り曲げ線fを介して連設された保持片30と、保持片30の左右にそれぞれ折り曲げ線g, hを介して連設され、互いに掛かり合うように切り込みx, yを設けた掛かり片31, 32とからなる。

【0016】

係止片20には、中央部にボトルの首部が入るサイズの円形孔21が形成され、その円形孔21に突き出るように四方から抜け止め片22が設けられている。

【0017】

保持片30には、下側シート面17の端縁から保持片30の中間部分にまで達する半円形の切り込みαが設けられ、この切り込みαにより保持片30の内側に凸状の表示片30aが区画形成されている。

【0018】

図4のブランクを折り畳む順序は次のようである。まず、上側シート面11と下側シート面15を縦罫線aで内側に折り曲げ、重なった上側シート面11, 12と下側シート面15, 16とを縦ミシン目線bで内側に折り曲げた後、外側となった上側シート面12と下側シート面16の上に重なるように上側シート面14と下側シート面18を縦罫線cで内側に折り曲げる。このようにシート本体10を縦方向に折り畳んだ状態を係止片20が正面を向いた状態で示すと図5のようになる。

【0019】

続いて、図5に示す状態から、上側シート面13と下側シート面17が合わさるようにしてシート本体10全体を横罫線dで横方向に2つ折りし、さらに、保持片30を折り曲げ線fのところで外側に折り返して図6に示す状態とした後、保持片30の左右の掛止片31, 32をうしろ側に折り曲げてそれらの切り込みx, y同士を掛かり合わせる。このように掛止片31, 32がシート本体10の背面側で掛かり合うことで、図2及び図3に示すように、折り畳んだシート本体10をしっかりと保持させることができる。

【0020】

このように折り畳み状態を保持したボトルネッカー1は、図1に示すように、係止片20の円形孔21をボトルBの首部に通して吊下げ状態で使用する。このとき、円形孔21には抜け止め片22が設けてあるので、手が触れた程度では外れることがない。保持片30が前面に位置するので、ここに必要なアイキャッチを印刷しておくことで、販売促進効果を高めることができる。

【0021】

また、ボトルネッカー1はボトルBの首部から外して広げることになるので、その他のシート面の表裏にも必要に応じて種々の印刷を施しておくことは言うまでもない。この例のボトルネッカー1では、上側シート面11, 12と下側シート面15, 16の4つシート面を応募葉書シートとしており、縦ミシン目線bのところでその葉書部分を分離することができる。

【0022】

上記のボトルネッカー1は、保持片30に表示片30aを切り込みαで区画してあるため、表示片30aとの境界で折り曲げ線fを折り曲げないでおくことで、図示の如く、表示片30aが下側シート面17から上方に突き出た状態となる。したがって、保持片30の表示領域による宣伝効果に加え、表示片30aの突き出た部分を利用してさらに宣伝効果を挙げることができる。

【0023】

また、本発明のボトルネッカー1は、正面に位置する保持片30が逆折りされているため、表印刷と裏印刷の配色をコントラストにすることなどで、視認性の高い印象的なデザインが可能となる。

【0024】

シート本体 10 を構成するシート面の数は、上記の例では横方向について 4 列の並びとしたが、必要に応じて 3 列、5 列と増減してもよい。また、ボトル B の首部に掛止可能な掛止片 20 はいずれの上側シート面に連設してもよいし、保持片 30 についてもいずれの下側シート面に連設してもよい。また、シート面を区画する罫線は必要に応じてミシン目線としてもよい。

【0025】

以上、本発明を実施するための形態について詳細に説明してきたが、本発明によるボトルネッカーは、上記の形態に何ら限定されるものではなく、本発明の趣旨を逸脱しない範囲において種々の変更が可能であることは当然のことである。

【符号の説明】

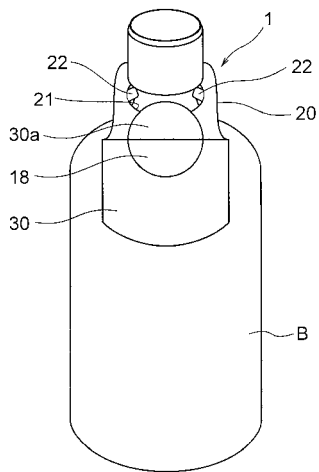
10

【0026】

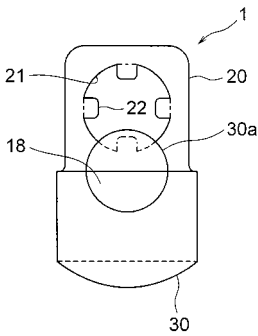
- 1 ボトルネッカー
- 10 シート本体
- 11～14 上側シート面
- 15～18 下側シート面
- 20 掛止片
- 21 円形孔
- 22 抜け止め片
- 30 保持片
- 30a 表示片
- 31, 32 掛かり片
- B ボトル
- a 縦罫線
- b 縦ミシン目線
- c 縦罫線
- d 横罫線
- e, f, g, h 折り曲げ線
- x, y 切り込み
- α 切り込み

20

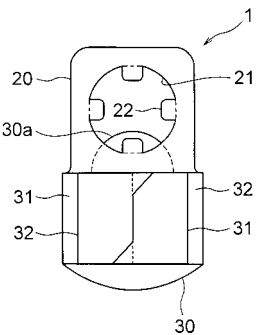
【図 1】



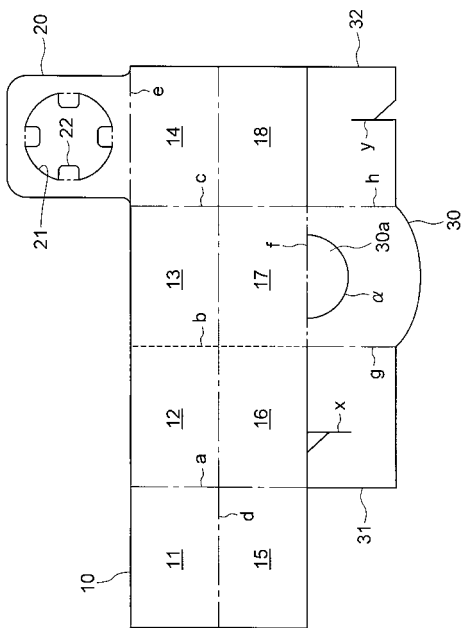
【図 2】



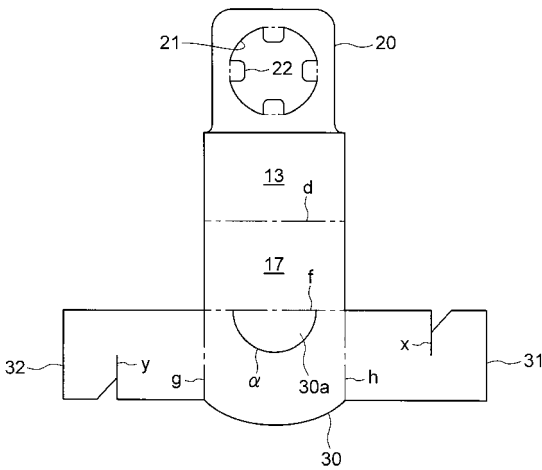
【図 3】



【図 4】



【図 5】



【図 6】

